

# 立命館経済學

第二十六卷 第五号

昭和五十二年十二月

---

## 内 容

### 論 説

- 三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と  
社会政策および中間層政策の展開 (一) ……………川 本 和 良 1  
景気循環の一モデル……………北 野 正 一 30

### 研 究

- 現代日本企業税制の諸要因……………藤 岡 純 一 58

### 資 料

- 志布志湾漁業経済分析資料 (その二) ……………杉 野 隼 明 82  
共 同 研 究 室…………… 134

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十六卷・第三号

論 説

寄与率についての一考察……………関 弥三郎

研 究

タイ農民層分解の論理……………田 坂 敏 雄

——タイ中部の農家経済の分析を  
中心とした試論——

民生委員の階級的基盤……………三 富 紀 敬

資 料

日本資本主義確立期の資本の存在形態(三)

……………後 藤 靖

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十六卷・第四号

論 説

戦後日本における現実資本と

貨幣資本の展開……………小 牧 聖 徳

——量的指標と法則の貫徹——

国家と労働者階級……………三 好 正 巳

——植民地労働者と民族自決権——

研究ノート

雇用理論に関するノート……………河 野 快 晴

資 料

日本資本主義確立期の資本の存在形態(四)

……………後 藤 靖

発行所 立命館大学経済学会